



以下の図はCWR-F2シールドを表しています。

### CWR-F2/CWR-F2R シールド

シールドを完全に下ろすとロックが掛ります。走行時は、このポジションにすることを推奨します。(図A)

図Bのようにシールドロックを解除し、シールドを少し開けた状態で低速走行することで、ヘルメット内に換気することができます。

#### ▲ 警告

図Bのようにシールドを少し開けた状態で高速走行した場合、シールドが不意に開く恐れがあり危険です。高速走行時には使用しないでください。

#### ■ シールドの開け方

シールドロックボタンを押してロックを解除し、シールドを開けて下さい。(図A)

#### ■ シールドの取り外し方

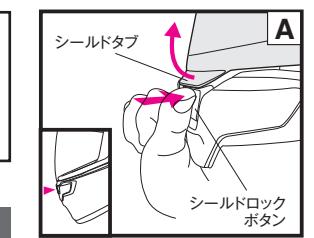
1. シールドを全開の状態にします(図1)。
2. トリガーを下に引きながら、シールドをヘルメット前方へ引っぱり、手前に持ち上げてフック(A) (B) を外します(図2)。
3. フック(C)をフックレールから矢印方向に外して取ります(図3)。
4. 反対側も同じ要領で取り外します。

#### ■ シールドの取り付け方

1. シールドを全開の状態の位置に合わせ、フック(C)をフックレールに差し込みます(図4)。
2. シールドをヘルメット前方へ引っぱりながら、矢印付近を上からカチッとロックするまで押し(図5)、フック(A) (B) をフックレールにしっかりと差し込みます(図6)。
3. 反対側も同じ要領で取り付けます。
4. 最後に、シールドを開閉を数回繰り返し、フックがシールドベースに確実にはまっているか確認してください。

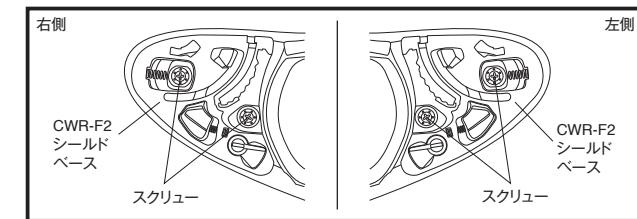
#### ▲ 警告

フックやギアがシールドベースにはまっていると、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。取り付け後は、シールドの開閉操作を数回繰り返し、フックやギアが確実にはまっているか確認してください。また、シールドを完全に下ろした状態で、ロックが掛かるか確認してください。



### CWR-F2 シールドベースの交換

①シールドを取り外し、左右2カ所ずつ(計4カ所)のスクリューを取り、既存のCWR-F2シールドベースを外します。新しいCWR-F2シールドベースは次のように取り付けます。



②シールド側の下部スクリューホールを、CWR-F2シールドベース下部の孔の左下右の中心に合わせ、スクリューを締め付けます。

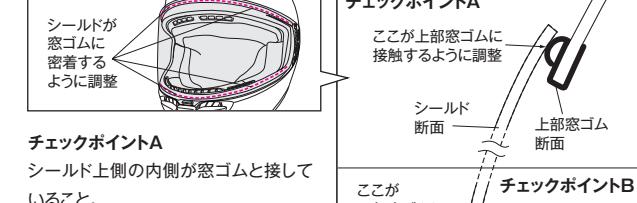
③次に、シールド側の上部スクリューホールを、CWR-F2シールドベース上部の孔の左右の中心に合わせ、スクリューを締め付けます。

④反対側のCWR-F2シールドベースも同じように締め付けます。

\*締め付けの強さや方法は、「シールドの取り扱いに関するご注意」をご参照ください。

### CWR-F2/CWR-F2Rシールドの調整方法

シールドまたはCWR-F2シールドベースを交換した際、シールドが窓ゴムに接触していない、または、閉まらない場合には、以下の方法でCWR-F2シールドベースを調整してください。



①シールドを全開の状態に合わせ、フック(C)をフックレールに差し込みます(図4)。

②シールドをヘルメット前方へ引っぱりながら、矢印付近を上からカチッとロックするまで押し(図5)、フック(A) (B) をフックレールにしっかりと差し込みます(図6)。

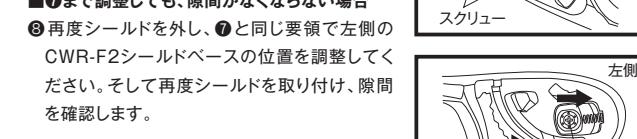
3. 反対側も同じ要領で取り付けます。

4. 最後に、シールドを開閉を数回繰り返し、フックがシールドベースに確実にはまっているか確認してください。

#### ▲ 警告

フックやギアがシールドベースにはまっていると、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。

取り付け後は、シールドの開閉操作を数回繰り返し、フックやギアが確実にはまっているか確認してください。また、シールドを完全に下ろした状態で、ロックが掛かるか確認してください。



#### ■ シールド調整レバーで調整して、まだ隙間がある場合

①シールド調整レバーを左右とも、図の位置にセットしてください。右側のCWR-F2シールドベースの左側のビスを緩めた後、CWR-F2シールドベースを矢印方向へすらすらと位置を調整し、スクリューを締め直します。調整後、シールドを取り付け、隙間を確認します。

■今まで調整しても、隙間がなくなるない場合

②再度シールドを外し、①と同じ要領で左側のCWR-F2シールドベースの位置を調整してください。そして再度シールドを取り付け、隙間を確認します。

#### ▲ 警告

CWR-F2シールドベースの位置調整後、シールドを完全に下ろした状態で、シールドがロックされるか確認してください。CWR-F2シールドベースの取り付け位置が極端に後方にになると、ロックが掛からなくなる場合があります。



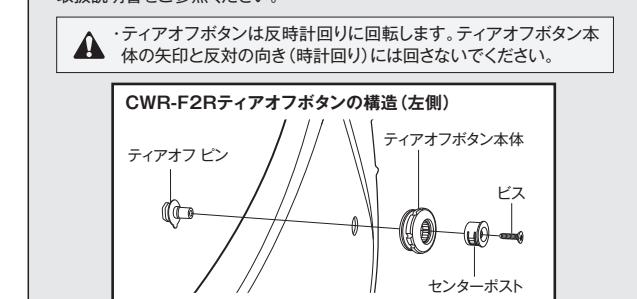
### CWR-F2Rティアオフボタン

CWR-F2Rティアオフボタンは、レースの際に使用するCWR-F2Rティアオフフィルム(オプション)を装着するためのバーナーです。CWR-F2Rティアオフボタンは、CWR-F2シールドには取り付けられておりませんので、ご注意ください。

CWR-F2Rティアオフボタンが破損した場合は、オプションのCWR-F2Rティアオフボタンに交換できます。

CWR-F2Rティアオフフィルム(オプション)を使用される場合、ティアオフボタンを取付ける前に、ティアオフボタンの調整が必要です。調整の仕方やフィルムの貼り方については、CWR-F2Rティアオフフィルムに同梱の取扱説明書をご参照ください。

\*レバーで調整しきれない場合は、スクリューを緩めシールドベースを動かして調整してください。



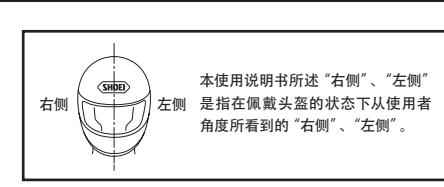
#### シールドの取り扱いに関するご注意

1. シールドの汚れや傷は走行中の視界の妨げとなり、大変危険です。シールドが汚れたり傷が付いたりしたままでは、直ちに使用を中止し、取り外して洗浄するか、交換して下さい。ミラーが工された際は、ご使用による鏡面反射で、ビニールシート等で保護するか、安全な距離を保つことがあります。
2. シールドは、水で溶かされた中性洗剤で洗い、真水でよく洗ってください。ガソリンや他の有機溶剤を含むクリーナー等は使用しないでください。これらが付着すると、シールドを保護する機能があります。
3. シールドが曇った状態で走行しないでください。視界が妨げられる大変危険です。シールドが曇った場合、ロアエアインテイクを開いたり、シールド内をよく換気し、シールドの曇りを取除いてください。また、防霧シートの使用も、シールドの曇り防止に効果的です。
4. 防霧シートを使用する場合は、必ずSHOEI純正品の防霧シートをご使用ください。取り扱い方法については、防霧シートに同梱されている取扱説明書をご覧ください。
5. シールドベースをクリーニングしたり、あるいはシールドベースを交換した場合、シールドを閉めてシールドと窓ゴムの密着を確認してください。隙間がある場合、風の巻き込みや風切り音の原因となるため、シールドが窓ゴムに密着するようシールドベースの位置を調整してください。
6. クリーナーの綿め付けなどを行なう際は、ビニールシート「No.2」のラズラストドライバーで、クリーナーをなめしめ付けてください。クリーナーを交換する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強く締めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリューを破損する場合は、必ず純正部品(アルミニウム製)をご使用ください。スクリューを強めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので、十分注意して回ください。
6. 汚れや傷は走行中の視界の妨げとなり、大変危険です。シールドが汚れたり傷が付いたりしたままでは、直ちに使用を中止し、取り外して洗浄するか、交換して下さい。ミラーが工された際は、ご使用による鏡面反射で、ビニールシート等で保護するか、安全な距離を保つことがあります。
7. シールドにステッカーや粘着テープを貼らないでください。

\*霧吹き時请ご注意ください。

\*本取扱説明書は、お近くのSHOEI販売店か下記Webサイトをご覧いただき、お問い合わせください。

\*本



本使用说明书所述“右侧”、“左侧”是指在佩戴头盔的状态下从使用者角度所看到的“右侧”、“左侧”。

\*以下是CWR-F2镜片的图纸描述。

### CWR-F2/CWR-F2R镜片

完全降下镜片后，镜片将会锁定。骑行时推荐保持该位置。(图A)

如图B所示，解除镜片锁定，在稍微打开镜片的状态下低速行驶。可对头盔内进行换气。

#### 警告

如图B所示，若在稍微打开镜片的状态下高速行驶，可能会有镜片意外打开的危险。请勿在高速行驶时使用此功能。

#### ■镜片打开方法

按下镜片锁定扣按解除锁定，打开镜片。(图A)

#### ■镜片拆卸方法

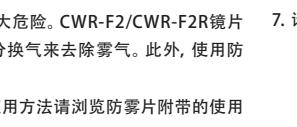
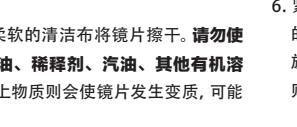
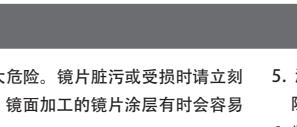
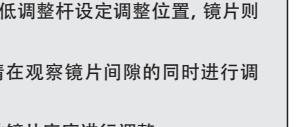
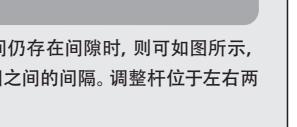
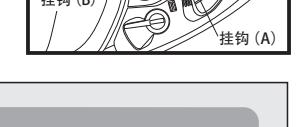
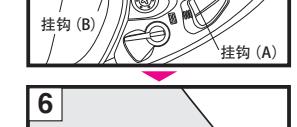
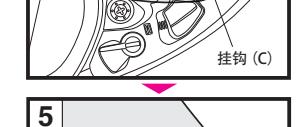
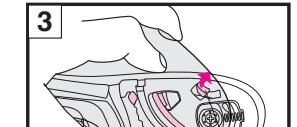
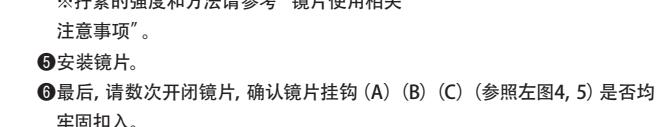
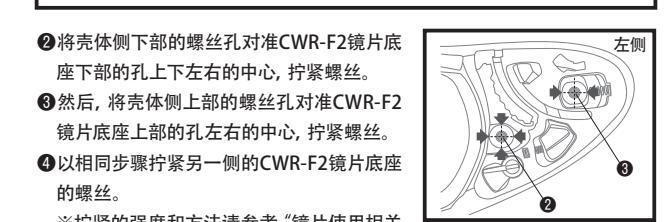
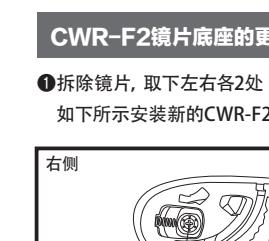
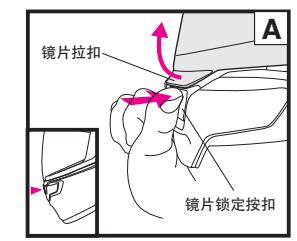
- 让镜片处于全开状态(图1)。
- 将触发器向下拉，同时向头盔前方拉镜片并往跟前抬起，拆下挂钩(A)(B)(图2)。沿箭头方向从挂钩滑轨上取下挂钩(C)(图3)。
- 另一侧也请按照相同步骤进行拆卸。

#### ■镜片安装方法

- 让镜片处于全开状态的位置，将挂钩(C)插入挂钩滑轨(图4)。
- 将镜片向头盔前方拉，同时其压下至前头附近并在听到咔哒声锁定后(图5)，将挂钩(A)(B)牢靠嵌入挂钩滑轨(图6)。
- 最后，请反复进行数次镜片开闭操作，确认挂钩是否牢固嵌入镜片底座。

#### 警告

若挂钩或齿轮未嵌入镜片底座，则在骑行时镜片将会脱落，从而导致意外事故。安装镜片后请反复进行数次镜片开闭操作，确认挂钩或齿轮是否牢固嵌入。此外，请确认在镜片完全下降状态时，镜片锁定扣是否挂住镜片的挂钩。



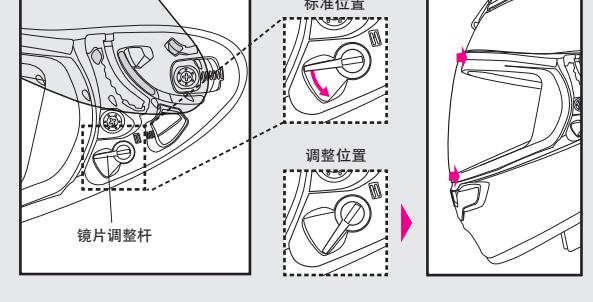
#### 镜片调整杆

在使用过程中，若关上镜片，镜片与视窗橡胶圈之间仍存在间隙时，则可如图所示，通过降低镜片底座的调整杆缩小镜片与视窗橡胶圈之间的间隔。调整杆位于左右两侧，可分别进行调整。

\*调整杆默认设定在下图所示的标准位置。通过降低调整杆设定调整位置，镜片则向后移动。

\*若将其调整过紧则会使视窗橡胶圈发生劣化。请在观察镜片间隙的同时进行调整。

\*无法完全通过调整杆进行调整时，请松开螺丝移动镜片底座进行调整。



#### 镜片使用相关注意事项

1. 镜片脏污或受损时将会在骑行中妨碍视野，从而发生重大危险。镜片脏污或受损时请立刻停止使用，将其取下后进行清洗或更换。根据使用情况，镜面加工的镜片涂层有时会容易剥落。保养维护时请仅用淡水轻轻清洗。

2. 请用稀释的中性清洗剂清洗。再用淡水充分冲洗后用柔软的清洁布将镜片擦干。请勿使用超过40°C的水。盐水、酸性或碱性清洁剂、挥发油、稀释剂、汽油、其他有机溶剂、玻璃清洁剂等或含有有机溶剂的清洁剂。若附着以上物质则会使镜片发生变质，可能会对驾驶造成影响。

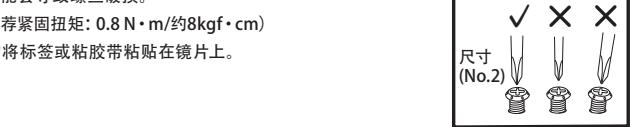
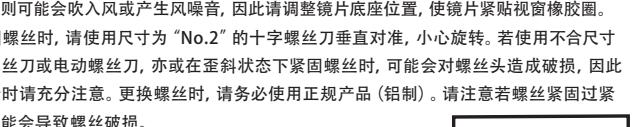
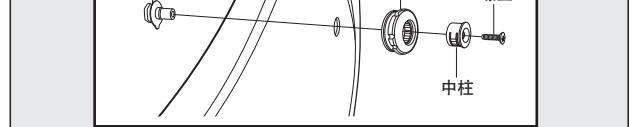
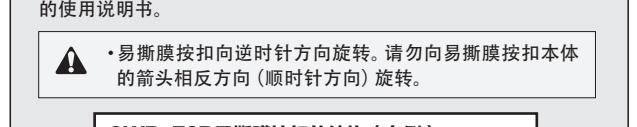
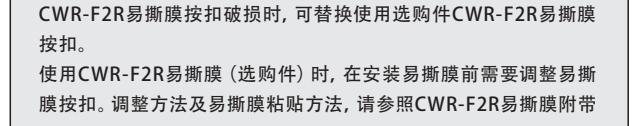
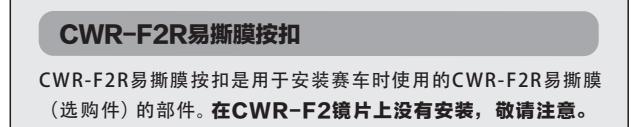
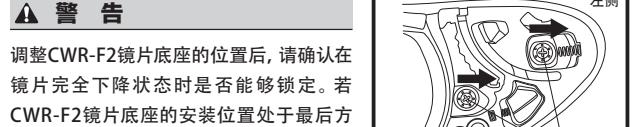
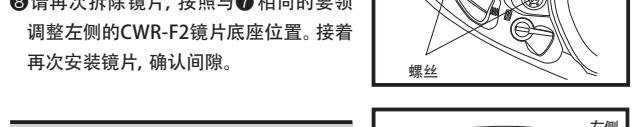
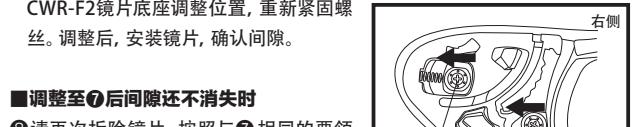
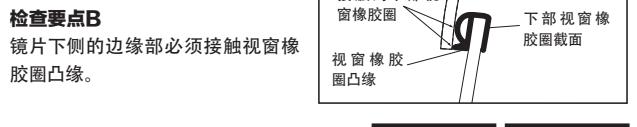
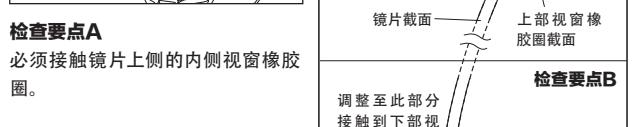
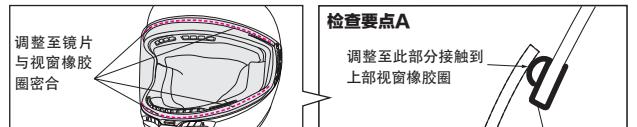
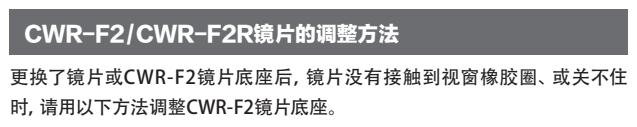
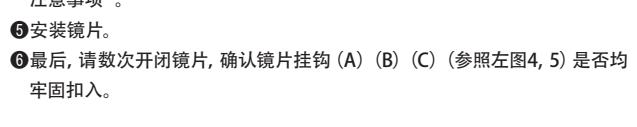
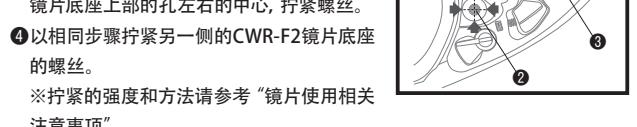
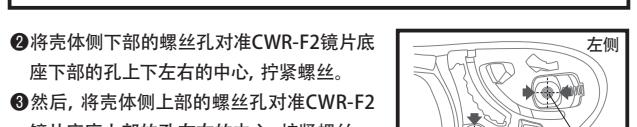
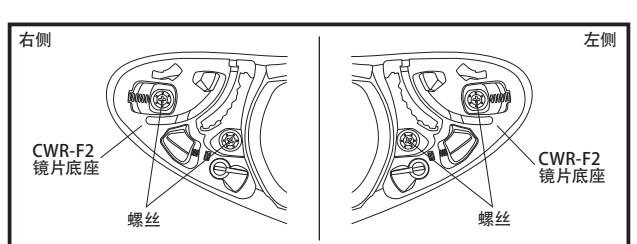
3. 请勿在镜片起雾的状态下继续骑行。视野受阻会导致重大危险。CWR-F2/CWR-F2R镜片起雾时，请打开下方进气孔或镜片，对头盔内部进行充分换气来去除雾气。此外，使用防雾片亦可起到防止镜片起雾的效果。

4. 使用防雾片时，请务必使用SHOEI的正规产品防雾片。使用方法请浏览防雾片附带的使用说明书。

#### 中文

#### CWR-F2镜片底座的更换

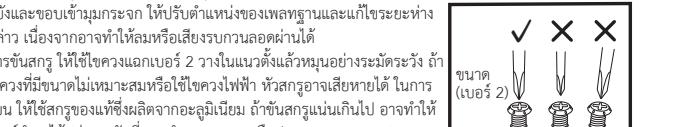
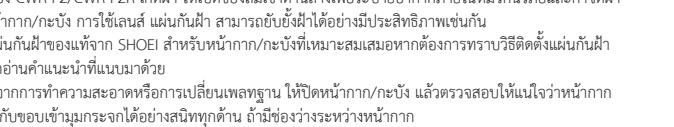
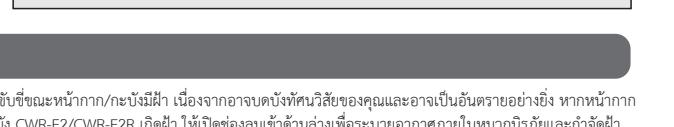
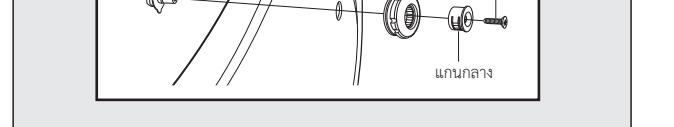
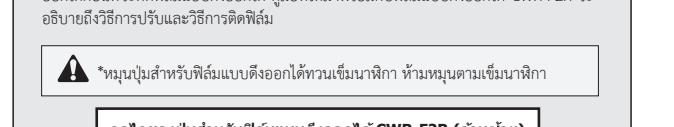
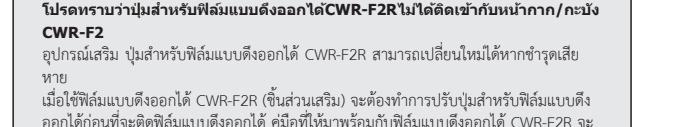
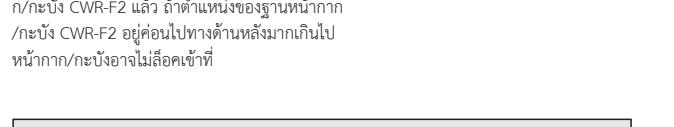
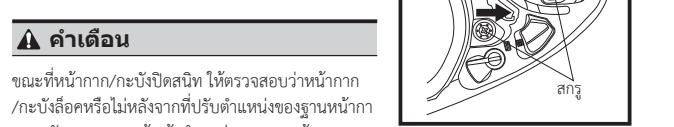
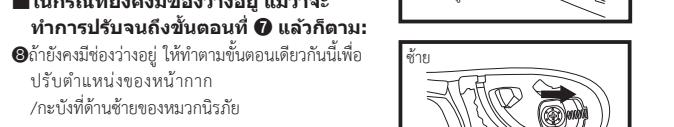
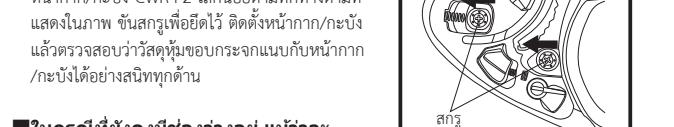
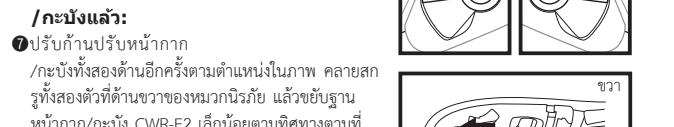
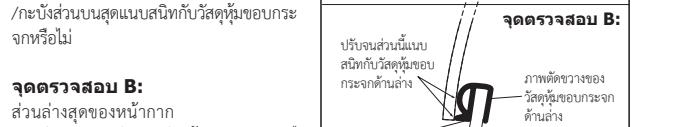
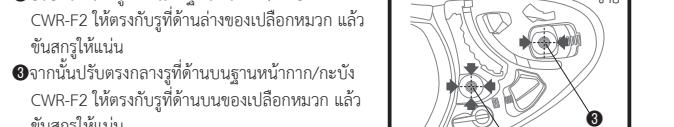
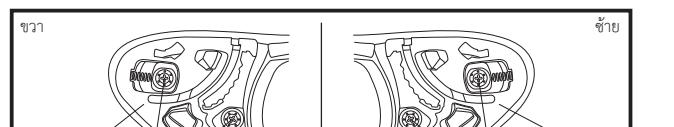
①拆除镜片，取下左右各2处(共4处)的螺丝，拆除原来的CWR-F2镜片底座。如下所示安装新的CWR-F2镜片底座。



#### 泰文

#### การเปลี่ยนฐานหน้ากาก/กันลมรุ่น CWR-F2

①松开头盔/护目镜上的4颗螺钉，拆除原来的CWR-F2镜片底座。如下所示安装新的CWR-F2镜片底座。



#### 泰文

Istilah “kanan” dan “kiri” dalam buku panduan ini adalah dari sudut pandangan penunggang yang memakai topi keledar.

\*Lakaran yang berikut, menggambarkan visor CWR-F2.

#### Pelindung/Visor CWR-F2/CWR-F2R

Jika anda menarik pelindung/visor ke bawah dengan sepenuhnya, ia akan dikunci. Kami mengesyorkan agar pelindung/visor kekal dalam kedudukan ini ketika anda menunggang motosikal anda. (Lukisan A)

Kabus boleh dikeluarkan dengan membuka pelindung/visor sedikit seperti dalam Lukisan B dan menunggang motosikal pada kelajuan rendah untuk pengaliran udara dalam topi keledar.

#### AMARAN

Jangan tunggang motosikal pada kelajuan tinggi dengan pelindung/visor dibuka sepenuhnya. Pelindung/visor boleh terbuka sepenyawa secara tiba-tiba dan boleh menjadi sangat berbahaya.

#### ■Membuka pelindung/visor

Tekan butang pengunci pelindung/visor untuk membuka kunci pelindung/visor, dan kemudian, buka pelindung/visor. (Lukisan A)

#### ■Menanggalkan Pelindung/Visor

- Buka pelindung/visor kepada kedudukan terbuka sepenuhnya seperti Lukisan 1.
- Apabila menarik pentus ke bawah, tarik pelindung/visor ke hadapan topi keledar dan pegang pelindung/visor menghadap anda untuk membuka cangkul (A) dan (B) (Lukisan 2).
- Lakukan dengan cara yang sama untuk bahagian lain.

#### ■Memasang Pelindung/Visor

- Bukakan pelindung/visor kepada kedudukan terbuka sepenuhnya dan masukkan cangkul pelindung/visor (C) seperti Lukisan 4.
- Apabila menarik pelindung/visor ke hadapan topi keledar, tekan kawasan beranak panah pelindung/visor seperti ditunjukkan dalam Lukisan 5 sehingga kedengaran bunyi klik. Kemudian, masukkan cangkul (A) dan (B) dengan ketat ke kedudukan yang ditunjukkan dalam Lukisan 6.
- Buka dan tutup pelindung/visor beberapa kali dan pastikan bahwa semua cangkul dipasang dengan ketat.
- Lakukan dengan cara yang sama untuk bahagian lain.

#### AMARAN

Jika cangkul dan alat tidak diketatakan dengan baik pada tapak pelindung/visor, pelindung/visor mungkin menjadi longgar semasa menunggang dan kemalangan boleh berlaku pada tapak pelindung/visor. Selain itu, tapak pelindung/visor mungkin bergerak atau bergerak selama menunggang. Selesaikan segera jika anda mendapati pelindung/visor bergerak atau bergerak selama menunggang.

#### ■Kesiranya masih terdapat jurang walaupun selepas pelarasan dengan tulip pelarasan pelindung/visor:

- Terapkan semula tulip pelarasan pelindung/visor di kedua-dua tapak pelindung/visor ke dalam lukisan. Longgar kan kedua-dua skru di sebelah kanan topi keledar dan gerakkan sedikit tapak pelindung/visor CWR-F2 ke arah yang ditunjukkan dalam lukisan. Ketekat dari pasangkan skru. Pasang pelindung/visor dan periksa tulip getut sepenuhnya di sekeliling pelindung/visor.

#### ■Kesiranya masih terdapat jurang walaupun selepas menjalankan pelarasan mengikut langkah sehingga:

- Jika masih terdapat jurang, ikuti prosedur yang sama untuk melaraskan kedudukan pelindung/visor di sebelah kiri topi keledar.

#### AMARAN

Apabila pelindung/visor tertulup sepenuhnya, periksa pelindung/visor adalah diluncurkan selepas melaraskan kedudukan tapak pelindung/visor. CWR-F2 dipertempat ke belakang sangat, pelindung/visor mungkin tidak terkunci.

#### Butang Koyak CWR-F2R

Butang Koyak CWR-F2R digunakan untuk melengkapkan Lapisan Koyak CWR-F2R (pilihan) untuk perlumbaan. Sila ambil perhatian bahawa butang koyak CWR-F2R tidak dipasang pada pelindung/visor CWR-F2.

Apabila rosak, butang itu boleh digantikan dengan Butang Koyak CWR-F2R pilihan.

Apabila menggunakan Lapisan Koyak CWR-F2R (pilihan), pelarasan Butang Koyak diperlukan sebelum menggunakan Lapisan Koyak. Manual yang disertakan dalam Lapisan Koyak CWR-F2R menerangkan cara melaraskan skru untuk melaraskan kedudukan tapak pelindung/visor.

\*Butang Koyak berpuas diri mengikut arah lawan jam. Jangan pusingkan butang itu mengikut